

笠岡大教会連絡事項

立教186年(令和5年/2023年)1月末



WEB版

◇大教会長様より

日々はたすけ一条の御用の上に精一杯おつとめ下さり誠にありがとうございます。

私からは十点お話をさせていただきます。

- 一点目は教祖百四十年祭について、先日の本部春季大祭の後に真柱様から、この度の年祭は立教189年1月26日の一日であり、年祭期間はない事が発表されましたので、ご承知おきください。この日に向かって、三年千日と仕切ったの成人の歩みをしっかりと進めさせていただきます。
- 二点目は2月、3月の一斉巡教についてです。先月も案内しましたが、部内教会に下記の流れで一斉巡教を行います。この度の巡教は全教会一斉巡教(諭達巡教)として、お話のお取次ぎを主として考えております。コロナ禍の現状を鑑み、巡教員がおつとめ着でおつとめを共につとめ、食事接待はなし、という形を基本と致しますが、場合によっては、巡教員がスーツでおつとめの後半開始頃に教会に到着し、お話を取り次いだ後に帰る、という形も想定されます。式中の礼拝、開閉講の挨拶を誰がするか等含め、詳細は巡教員と当該教会が相談の上決定してください。なお、当日、巡教員が「教会長・布教所長・ようぼく・信者」のそれぞれの参加者数をお尋ねしますので、各教会において集計をお願いいたします。また、それぞれの教会で「目標・実践項目」を提出用紙に記入し、巡教員にお渡し頂くか、後日大教会まで提出をお願いいたします。
 - 一、親神様・教祖・祖霊様礼拝
 - 一、開講挨拶 諭達第4号拝読(当該教会長)
 - 一、講話
 - 一、閉講挨拶(当該教会長の決意を含む)
 - 一、親神様・教祖・祖霊様礼拝
- 三点目は、年祭に向かっての動きとして、「KASAOKA ひながた通信」の配信が2月1日にスタートとします。文字だけでなく、音声での配信も用意しております。まだ友達登録がお済みでない方は、登録をどうぞよろしくお願い致します。スマホ等がなくて見れないという方には、教会毎に紙版の配布を致します。必要数を教会を通してお申込みください。また、この度の年祭に向かってのB4版のポスターをこちらにも必要数を教会毎に配布しますのでお申込みください。

※四点目以降はかなめ会からの連絡事項になります。

- 四点目は内統領室より、三年ぶりにお節会が無事開催できた御礼が述べられ、三日間で三万二千人の参加人数だった事が報告されました。
- 五点目はたすけ委員会から、教会本部主催、教区支部運営の元「ようぼく一斉活動日」を定め、実施する旨が発表されました。第一回は立教186年10月29日になります。参加御供は300円。詳細は添付の資料をご確認ください。これまでの年祭であった地方講習会やようぼくの集いは開催されないとの事です。資料
- 六点目は布教部より、天理時報の手配りひのきしんについて、全国一律の活動は今年3月で終了し、4月以降はそれぞれの支部、手配り拠点の実情に合わせて進め方を考えどうするか決定していく事が発表になりました。
- 七点目は道友社より、天理時報オンラインについて発表がありました。<https://jiho.doyusha.jp/> にアクセスする事で閲覧でき、無料会員になれば月10件までの有料記事が、月額360円のスタンダード会員になれば全ての有料記事が読むことが可能。月額600円のプレミアム会員になれば、加えて書籍の電子版を閲覧可能になります。ただし、今後紙媒体をやめて全てデジタルに移行するわけではないとの事です。WEB
- 八点目は道友社より、『すきっと』が年二回から一回9月1日発行に変わる事が発表されました。
- 九点目は道友社より、ラジオ天理教の時間の公共の電波による放送が今年3月で終了する事が発表されました。今後は無料アプリのポッドキャストでの配信に切り替わるとの事です。
- 十点目は少年会より、今年の活動方針と『こどもおぢばがえり』が7月27日から8月6日までの11日間で開催される事が発表されました。

1月26日に本部春季大祭がつとめられ、いよいよ年祭活動期間がスタートしました。この度の年祭は笠岡に繋がる皆が一人残らず揃って年祭活動に取り組み、ひながたを目標として成人の歩みを進める事ができますように、それぞれの持ち場立場でお励み下さいますように、どうぞよろしくお願い致します。

◇教祖140年祭 登殿参列

- 別紙の通り、本年5月より、「教祖140年祭 登殿参列」が行われます。
- これに備え、各教会長の状況を調査しますので、「◇教祖140年祭 登殿参列 事前調査」票を、直轄教会で取りまとめて、2月21日までに担当(大教会・岡崎真一)へご報告ください。別紙

◇会長室・海外部

●ウクライナ救済支援の中間報告

- ・第一便は600個ずつのホッカイロを4箱。計2,400個が22日に郵送され、23日には関西空港からウクライナに向けて送られました。その後集まったホッカイロを第2便として2月最初に送る予定です。皆様の真実のご協力を有難うございます。

◇神事部

●祖霊の合祀について

- ・大教会おつとめ奉仕人・部内教会長につき、出直後1年を経た祖霊様を、大教会霊祭に合わせて合祀しておりましたが、諸般の事情により、ここ数年、合祀を控えておりました。

このたび、合祀簿を整理のうえ、来る3月22日(水)午前9時30分より、春季霊祭に先だって、次の祖霊様方を合祀しますので、関係の方々のご参拝ください。

▶おつとめ奉仕人

田林志計實(東悠)、森本忠平(海松ヶ岡・笠晴)、三代正道(米府)、三島富代(新山邑)、武内美智恵、平井 年(弥高山)、浅野正子。

▶教会長

| | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 東 城：横山道明 | 服 部：福田 勝 | 驛 家：高山森雄 |
| 錦 備：室 喜久子 | 福 廣：佐々木静子 | 福 芦：竹本勘市 |
| 引 野：藤本五郎 | 福 昭：平盛又三 | 福 春：北村アヤコ |
| 福 中：串田幸恵 | 福 南：掛谷和由 | 福 輝：宮崎可夫 |
| 深 安：北村立人 | 笠 尋：三嶋利夫 | 惠 陽：藤本まこと |
| 御 野：佐藤主計 | 稻 倉：北川 勇 | 稻富士：山成久太郎 |
| 稻 讚：下村信義 | 門司港：猪原道丸 | 大惠山：瀬藤教雄 |
| 高 丸：谷本里喜男 | 出 雲：鳥谷秀夫 | 弓ヶ濱：森川弘志 |
| 米 美：川上泰代 | 輝 伯：砂流 勲 | 輝 伯：雑賀智恵子 |
| 松 都：須山克子 | 樺 島：成田繁雄 | 神 村：下田輝夫 |
| 呉 中：下田 章 | 大江橋：村川和司 | 久 福：佐藤ミツコ |
| 呉 福：佐藤久枝 | 行 滕：下田孝徳 | 眞 府：高田準一 |
| 清 嶽：田中幹夫 | 木津和：丸山 勤 | 國 須：橘高祐高 |
| 河佐・上川邊：友井道雄 | 豊榮町：山田サツ子 | 阿木行：田辺主登 |
| 河 面：川上正毅 | 府 庄：佐藤サダコ | 府世原：高信公枝 |
| 作 備：三宅タケノ | 神 免：石井 守 | いわき(布)：今林八ナ |

●春季霊祭の後半役割について

- ・上記の合祀祭同様、数年間、見送っておりました、部内教会長による大教会霊祭後半役割を再開いたします。
- ・個別の案内状は発送しませんので、次の方々に「役割と下記詳細」をお知らせください。

| 胡弓 | 三味線 | 琴 | 小鼓 | すりがね | 太鼓 | 拍子木 | ちゃんぽん | 笛 | てをどり | | | | | | 地方 | | | 教会 |
|------------|-----|---|------|------|------|-----|-------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|
| | | | | | | | | | 3 | 2 | 芯 | 3 | 2 | 芯 | 3 | 2 | 芯 | |
| 大教会おつとめ奉仕人 | | | 福輝 | 神村 | 福芦 | 福春 | 稲倉 | 弓ヶ濱 | 大江橋 | 恵陽 | 福廣 | 照雲 | 笠尋 | 福昭 | 福南 | 木津和 | 米美 | 氏名 |
| | | | 田中亜輝 | 下田誠輝 | 竹本和道 | 北村保 | 北川治史 | 森川道弘 | 村川久美子 | 藤本恵子 | 宮本正子 | 雑賀元生 | 三嶋正教 | 平盛秀年 | 掛谷善成 | 丸山正人 | 三代信行 | |

- ・3月21日(火)午後2時より、霊祭後半のおつとめ練習(役割に当たっておられる方はご出席ください)
- ・上記合祀祭(3月22日午前9時30分)までにおつとめ衣に着替えて神殿に集合。
- ・なお、霊祭当日につとめられない、あるいは、役を交代された場合は、神事部長へご連絡ください。

◇布教部

●教会長夫妻並びに布教所長講習会 開催報告

- ・参加者数：教会長夫妻125名 布教所長11名

◇海外部

●3月の広島平和公園にをいがけ

- ・G7のサミットが広島で行われる為、警備強化が予想される為中止になりました

●アフリカ、ウクライナ支援桜祭り

期 日 4月9日(日)

- ・大教会ピロティーを会場に4年ぶりに行います。

◇信者部

●接待係

- ・学生層育成者講習会につき、2月19日(日)客殿の清掃を行います。

◇詰所掛

- ・各部屋に貼ってある、「帰参者の皆様へ」(別紙参照)をよくお読みになり、ご協力をお願いします。



WEB PDF

●詰所での宿泊・喫食について

- ・詰所で宿泊・喫食される場合は、「教会名・代表者名・泊数・食数」を、《2日前までには、必ず》詰所へご連絡ください。
- ・食事をしない(宿泊のみの)場合でも、2日前には申し込みをして下さるようお願い致します。

.....部内教会・信者に徹底願います。

◇婦人会

●第105回婦人会総会

4月19日(水)10時30分 本部中庭
人数制限はありません。

●婦人会総会 特別ひのきしん

26才~40才くらいまでの会員
詳細はまた連絡します。

●別席強調月間

4月1日(土)~30日(日)
委員部から1名以上の別席者をご守護頂きましょう。

●『みちれだい』204号

まだ受け取っていない委員部は大教会まで取りに来て下さい。

◇青年会

- ・この度の青年会本部例会において、今年の基本方針が「心を澄ます毎日を。」と発表されました。詳しくは資料を御覧ください。



WEB 資料

◇少年会

●鼓笛合同合宿

- ・日帰りに変更して、3月31日(金)朝9時から夕方4時迄。
- ・所属している隊の活動が無い人達も参加出来ます。

●おつとめまなび総会

期 日 4月1日(土)
内 容 座りづとめ、よろずよ八首の総立ち(鳴物あり)

その後
式典
鼓笛お供え演奏
アトラクション
模擬店
の予定で準備を進めています。

●こどもおぢばがえりについて

期 間 7月27日(木)～8月6日(日)

- ・ポスターは近いうちに配布します。
- ・要項とチラシは4月の末にお配りする予定です。

◇学生担当委員会

●学生生徒修養会 大学の部(再掲)

- ・期 間 3月4日(土)～8日(水)
- ・申込方法 受講願書に大教会長様の署名捺印を頂き、本部学担へ提出、又は郵送
- ・受講御供 10,000円
- ・申込締切 2月15日(水)



要項 受講願 感染症

●学生生徒修養会 高校卒業生コース(再掲)

- ・期 間 3月10日(金)～12日(日)
- ・申込方法 受講願書に大教会長様の署名捺印を頂き、本部学担へ提出、又は郵送
- ・受講御供 5,000円
- ・申込締切 1月31日(火)



要項 受講願 感染症

※両コース共に、受講願書は大教会神事所にあります。又は、ホームページ(<https://happist.net>)にてダウンロード

●笠岡学生会冬の運動会

日 時 2月19日(日) 9時半～12時

- ・参加無料。体育館シューズ又はそれに準ずる履物持参

●笠岡学生会春のおぢばがえり

期 間 3月27日(月)・28日(火)

参加費 5,500円(現地参加3,500円)

※詳細は各教会へ配布してあるチラシ又は上原繁次まで

※笠岡として初めて団体を組みます。1人でも多くの参加お願いいたします。

◇その他

○雅鶯会

●雅楽講習会

期 日 4月27日(土)

場 所 大教会

○ピーチの会

- ・ 2月21日祭典後に『お話し会^_^』をします(詳細は、当日、放送にて)。

立教 186 年 1 月 27 日

直属教会長各位

たすけ委員会

「ようぼく一斉活動日」実施要項

- 名 称 : 「ようぼく一斉活動日」
- 主 催 : 天理教教会本部
- 運 営 : 教区・支部 (教区に「ようぼく一斉活動日」実行委員会を置く)
- 参加対象 : 地域(支部)在住のようぼく
- 実施会場 : 全支部で拠点教会を設定し、会場とする(複数会場可)
- 趣 旨 : 教祖 140 年祭に向かう三年千日、同じ地域に住むようぼくが互いに励まし合い勇ませ合って、それぞれの教会や個人の年祭活動に更なる勇みを付ける
- 実 施 日 : 全教一斉行事を挟みつつ、年祭活動期間中(立教 186 年秋～立教 188 年)に計 5 回実施。第 1 回は立教 186 年 10 月 29 日(日)
- 参加御供 : 300 円
- 内 容 :
 1. おつとめ
 2. 諭達拝読
 3. 教会本部からのビデオメッセージ
 4. 選択プログラム
(ひのきしん、講話、感話、懇談・ねりあい、その他)
 5. 挨拶
- 参加呼びかけ :
 - ・所属教会長からようぼくへ参加を呼び掛ける
 - ・教区、支部は把握しているようぼくへ参加を呼び掛ける
 - ・各支部は「教区・支部情報ねっと」へ会場教会、活動内容を掲載する
- 第 1 回説明会 : 立教 186 年 2 月 25 日 13 時
おやさとやかた南右第二棟 陽気ホール 1 教区 3 名まで
- 教区巡回 :
 - ・期 間 …立教 186 年 3 月～6 月上旬
 - ・対 象 …教区長、主事、支部長、教区実行委員、支部実務担当者
 - ・内 容 …活動趣旨、実施方法、会場設定、選択プログラムの説明
- 問い合わせ先 : 「ようぼく一斉活動日」事務局(布教部布教二課)
TEL: 0743-63-2245 **FAX**: 0743-63-7578 **MAIL**: yik140@tenrikyo.or.jp

◇教祖140年祭 登殿参列

㊦ 対象者

- ① 現役の教会長のみ。
- ② 下記期間中（割当月）に担任変更があった場合は、前任者・後任者のいずれか1人のみ参列できます。
前任者がすでに参列していた場合は、後任者は参列できませんので、担任変更の予定がある場合は、いずれが参列するかを、予めご相談ください。
- ③ 現時点で無担任の教会は、下記期間中（割当月）までに教会長の任命を願い出れば、新任教会長が登殿参列できます。

㊦ 割当月 笠岡大教会には、下記9回の月に、各十数人が割り当てられています。

立教186年 ①5月（金）・②8月（土）・③9月（火）
立教187年 ④3月（火）・⑤6月（水）・⑥8月（月）・
⑦11月（火）
立教188年 ⑧4月（土）・⑨6月（木）

㊦ 登殿参列の流れ

- ① 当日午前7時半までに、各自、教服に着替え、マスク着用で、笠岡詰所1階ロビーに集合。
携行品は、教服のポケットに入る「ハンカチ・ティッシュ」、教服の袂(たもと)に入る座椅子のみで、手荷物は持ち込めません。
履物は下駄または雪駄。履き間違えのないように、記名または目印を付けてください。
- ② 指定の車両に乗り合わせ、指定の駐車場で揃って下車。
西境内地（神苑西側）内の「登殿受付建物」まで移動し受付。
登殿するまでは「笠岡の列」から外れることができませんので、用便はこのタイミングで済ませてください。
- ③ **【一般参列者】**
西回廊・西礼拝場を通過して神殿へ。東礼拝場の指定された場所で登殿参列。
祭典講話終了後、おつとめ人衆・直属教会長に続いて、東回廊を通過して教祖殿へ参進。
【車椅子を使う人及び介添者・杖を使う人・歩行が緩慢な人】
第三御用場に移動後、「一般参列者」全体に続いて、西礼拝場を通過して神殿へ。北礼拝場の指定された場所で登殿参列。

祭典講話終了後、西回廊を通って教祖殿へ参進。

※参列時に、あぐらをかく程度に膝を崩すことはできます。

- ④ 教祖殿・祖霊殿を参拝後、統領より挨拶。
- ⑤ 祖霊殿前を通って受付建物へ移動。
- ⑥ 下車した駐車場で乗車し笠岡詰所に戻って記念撮影の後、解散。

回 登殿参列に関する 事前調査

※この下の破線で切り取り、記入出来る範囲で、すべての項目をご記入のうえ、直轄教会に提出してください。

※直轄教会は2月21日までに担当(岡崎真一)へご提出ください。

.....キ...リ...ト...リ...セ...ン

◇教祖140年祭 登殿参列 事前調査

- ① 教会名 _____ 分教会
- ② 現在、無担任ですか。
は い ・ いいえ (いずれかを○で囲む)
- ③ 現在、無担任、または、現役の教会長では登殿が難しく、「回 割当月」の期間中に担任変更を考えていますか。
は い ・ いいえ (いずれかを○で囲む)
- ④ ③で「はい」と答えた場合は、任命を願い出る予定年月を記入するか、未定の場合は「未定」を○で囲む。
立教 年 月頃 ・ 未 定
- ⑤ 以上を踏まえ、登殿参列する予定の「**因 対象者**」の氏名・記入時の満年齢をご記入ください。
氏 名 _____ (満 歳)
- ⑥ ⑤で記載した登殿参列する予定の「**因 対象者**」は、健常者と共に(車椅子・杖を使わずに)、神殿回廊を徒歩で半周し、約2時間、登殿参列した後、神殿回廊を徒歩で半周することができますか。
は い ・ いいえ (いずれかを○で囲む)
※ここで「いいえ」を選択すると、「回 登殿参列の流れ③の【車椅子を使う人及び介添者・杖を使う人・歩行が緩慢な人】」の扱いになります。
- ⑦ 「おぢばまでの移動手段」の都合や「車椅子の介添者」の都合で、「○○分教会長と一緒に参列したい」という希望がある場合は、その会長の教会名を記載してください。

_____ 分教会

御帰参の皆様へ

ようこそおかえりくださいました。

親神様もさぞかしおよろこびくださっていることと存じます。

詰所は

私達笠岡大教会のよふぼく・信者が、信仰のよろこびを結集しておぢばへお供えし、真柱様から第83母屋と御命名いただいた《信者修行所》です。

- いつまでも大切に維持し、きまりを守って、明るい、陽気な処となるようにしましょう。
- 詰所は、多数の皆様が足腰を伸ばして和やかにご利用になる場所です。他人様に迷惑のかかる行為はお互いに慎しみましょう。
- 御用のない時の、事務室内への出入りはご遠慮ください。

施設

- 各部屋に備え付けの物品・ふとん等は、他の部屋へ移動しないようにしてください。
- 喫煙は、館内では出来ません。南棟の各階ベランダにある喫煙所をお願いします。
- ◎ 子供連れの方へお願い。
 - ・危険ですからベランダへ出さないでください。
 - ・建物に傷をつけたり、落書させないように、また、廊下に備え付けの屋内消火栓や消火器・電話機で遊ばないように留意してください。
- ゴミは、分別して廊下のゴミ箱に入れてください。
- お帰りの際は、使用した布団や毛布等は、部屋の隅に積み、枕カバーははずしてください。使わなかった布団や毛布と一処に積み上げたり、押し入れに入れしないでください。また、部屋をきれいに片付け、お忘れものがないようにしてください。

受付

【到着】 & 【出発】

- 到着時には、事務所受付で帰参者名簿に記帳し、別席等の『順序参拝票』をお持ちの方は、提出してください。
- 貴重品は事務所でお預りしますから、ご希望の方は申し出てください。
- 教会本部で決められた宿泊・食事のお供金は、それぞれの泊数・食数に応じて事務所へ納めてください。
- お発ちの際も、事務所に届けてください。

申込

【宿泊】 & 【食事】

- 宿泊・食事とも、2日前までにお申込みください。
- 前日・当日の食事の申込・取消しは出来ません。

時間

【食事】 & 【入浴】 & 【消灯】

| | 喫食時間 | 申込み |
|----|---------------|---------|
| 朝食 | 午前6時半 ~ 午前8時 | 2日前の夜まで |
| 昼食 | 午前11時半 ~ 午後1時 | |
| 夕食 | 午後5時半 ~ 午後7時 | |

| | | |
|----|-------------|----------------------|
| 入浴 | 午後7時 ~ 午後9時 | 季節や日程により変更する場合があります。 |
| 消灯 | 午後9時 | |
| 就寝 | 午後10時 | 以後は静かにしましょう |

心を澄ます毎日。

新型コロナウイルスの世界的流行は、
これまでの日常に変化をもたらし、
さまざまな問いを生み出した。

青年会は何のためにあるのか。
私たちはなぜ信仰するのか。
信仰するとはどういうことなのか。

問いは、対話を生み、対話は、気づきを生んだ。

その気づきは、
信仰は日々、だということ。
教えの台といわれる
かしの・かりものの理に基づく生き方が、
今、求められている、ということ。

私たちの体をはじめ、
あらゆるものは親神様の御守護によってここにある。
お互いはきょうだいであり、
皆、親神様の懐で暮らしている。

その中で起こるさまざまな出来事は、
心を澄ましてほしいという親神様からのメッセージ。
まずは心のほこりを払い、
自分自身が変わろうとする姿勢を大切にしたい。

教祖は、教えに基づく生き方を、
自らの行動をもって伝えられた。
その根底にあるのは、
人にこうなってもらいたい、誰かにああしてほしい
と求める心ではなく、
可愛い子どもをたすけたい
という与える心。

言い換えれば、
人の良いよう、喜ぶよう、たすかるようにという、
誠の心。

教祖百四十年祭へ向かう三年千日は、
一人ひとりが教祖のひながたをたどり、
親神様の思いに近づく旬。

心を澄ます毎日。